

地域社会へ貢献

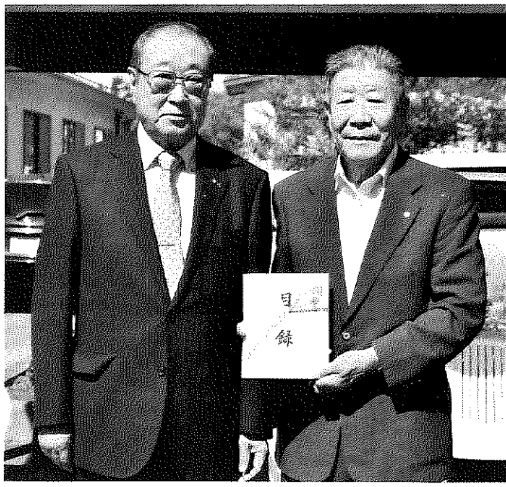
高吉建設がSDGS 私募債活用

高吉建設株式会社（佐藤利昭代表取締役）は9月28日、秋田銀行の「へあきぎん」SDGS応援私募債」を活用し、グループホーム大曲はなぞの（伊藤正之代表取締役）に介護用電動ベッド2台を寄贈した。

同行のSDGS応援私募債は、地域でのSDGSの取り組みの支援や持続可能な社会づくりへの貢献を目的に、今年7月から取扱いが始まった。発行額の0.2%相当額分を原資とし、私募債発行企

業が指定する医療や学校、地方公共団体などに寄付や寄贈を行う。高吉建設は9月24日に1億円を発行。長年、大曲はなぞのの営繕工事を請け負っており、「地域福祉の充実のために貢献したい」と寄贈先に指定した。

施設で贈呈式が行われ、同行大曲駅前支店の田村健支店長が「企業の資金調達を支援する活動を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献したいという思いが形となった。寄贈の品を有意義に使って



佐藤代表取締役（左）と伊藤代表取締役



あいさつする田村支店長

「頂きたい」とあいさつ。佐藤代表取締役が伊藤代表取締役に目録を手渡した。

佐藤代表取締役は「今回の寄贈は当社の経営理念である『地域社会への貢献』に合致した取り組み。コロナ禍で大変なことも多いが、電動ベッドをこれから様々な場面で活用してほしい」と述べた。受け取った伊藤代表

取締役は「障がいの程度が大きい入居者もあり、普通のベッドでは入浴時に苦労することが多かった。素晴らしいものを寄贈頂き、とても有難い」と話した。寄贈品は大曲はなぞの1号館と2号館に1台ずつ設置し、寝起きが不便な利用者のために活用していくという。